

呼吸器・心臓血管外科

1. 呼吸器・心臓血管外科の理念・特色

但馬、丹後地域における唯一の心臓血管外科・呼吸器外科である。当科は昭和27年に呼吸器科として発足し、結核の内科・外科治療を行ってきました。しかし結核患者の減少に伴い、心臓外科領域にも対応するようになり、昭和42年に心室中隔欠損の手術に成功し、以後50年を経過している。この患者はその後3人の母となり現在もお元気に生活されています。平成31年より呼吸器・心臓血管外科と名称変更し、心臓血管外科医3名、呼吸器外科医1名が在籍し心臓・大血管・末梢血管・肺・縦隔・胸壁の疾患に対応しています。少ない人員ですが、許せる限り24時間体制で緊急手術にも対応しています。当科の方針は、時流に惑わされることなく遠隔期を考慮した術式を確実にいき、生命予後、身体能力の改善を目指すことを旨としています。

但馬地方の人口は65歳以上の高齢者率33.5%(全国平均26.6%)、75歳以上の後期高齢者率18.5%(全国平均12.8%)と高齢者が多く住んでいる地方です。したがって、患者の身体的活動力、病気の重症度、合併疾患は様々です。近隣医療機関より当科または循環器内科、呼吸器内科へ紹介されてきますが、常に手術が唯一の治療手段と考えるのではなく、患者の活動能力・希望に沿って嚴重に外来での観察を続け手術時期・適応を模索することもあります。患者の要望、私たちに出来ることを家族とともに話し合いながら治療にあたります。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

- ・ 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ・ 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ・ 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- ・ 外科専門医の育成を通じて地域医療をささえ国民の健康・福祉に貢献すること
- ・ 外科領域全般からサブスペシャリティ領域(心臓血管外科、呼吸器外科)またはこれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

イ. 経験できる診療、技術

- ・ 虚血性心疾患: 労作時狭心症、不安定狭心症、心筋梗塞、左室瘤、虚血性僧帽弁逆流、虚血性心筋症
- ・ 弁膜疾患: 大動脈弁狭窄、大動脈弁逆流、僧帽弁狭窄、僧帽弁逆流、三尖弁逆流
- ・ その他の心疾患: 心臓腫瘍、心房中隔欠損、心房細動
- ・ 大動脈疾患: 胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、急性大動脈解離
- ・ 末梢血管: 閉塞性動脈硬化症、末梢血管の動脈瘤、バージャー病、下肢静脈瘤、内シャント造設、内シャント狭窄
- ・ 肺疾患: 原発性肺癌、転移性肺癌、良性腫瘍、肺嚢胞、気胸、肺化膿症、膿胸
- ・ 縦隔: 縦隔腫瘍、重症筋無力症
- ・ 胸壁: 中皮腫、胸壁腫瘍、漏斗胸、胸壁外傷
- ・ その他の疾患: 手掌多汗症



3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝						
午前	手術 (心臓・大血管)	手術 (呼吸器外科・血管)	手術 (心臓・大血管)	外来	外来 ・ 血管造影 ・ 血管内治療	/
午後					病棟カンファレンス 症例カンファレンス	
時間外	ICU術後管理		ICU術後管理	内科合同 カンファレンス (循環器・呼吸器)		

4. 指導医・スタッフ

副院長 兼部長 なす みちひろ
那須 通寛

出身 三重大学 S54

三重大学医学博士 S60

専門	心臓血管外科
認定	日本外科学会専門医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医、心臓血管外科専門医認定機構専門医・修練指導者、臨床研修指導医

部長 たなか じん
田中 仁

出身 三重大学 H1

三重大学医学博士 H7

専門	心臓血管外科
認定	日本胸部外科学会認定医、日本外科学会認定医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医、静脈焼灼術実施医、臨床研修指導医

部長 ひらの りゅうじ
平野 竜史

出身 三重大学 H1

三重大学医学博士 H8

専門	呼吸器外科
認定	日本外科学会外科専門医

医長 いのうち みきと
井内 幹人

出身 岡山大学 H16

専門	心臓血管外科
認定	日本外科学会専門医、日本脈管学会専門医、腹部大動脈ステントグラフト指導医、胸部大動脈ステントグラフト指導医、心臓血管外科専門医、血管内治療医、浅大腿動脈ステントグラフト実施医、下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医、臨床研修指導医

5. 診療設備

バイプレーンアンギオ装置 フィリップス Allura Clarity FD20/15
 超音波診断装置 フィリップス EPIQ7(生理検査室)
 移動型汎用型X線透視装置 GE ヘルスケア OEC9900EliteMD
 全身用X線 CT 診断装置 東芝メディカル Aquilion ONE



6. 診療実績

心臓・大血管症例数

	2016年	2017年	2018年	2019年
大動脈解離	8	5	10	13
心筋梗塞・狭心症	26	18	12	15
弁膜症	30	50	27	15
胸部大動脈瘤	8	3	9	8
大動脈損傷	3	1	0	0
その他	3	1	1	0
合計	78	78	59	51

心・大血管手術手技数

	2016年	2017年	2018年	2019年
冠動脈バイパス	36	29	20	18
弓部置換	6	1	4	7
基部置換	4	5	1	0
上行置換	12	5	4	11
大動脈弁置換	17	35	17	9
僧帽弁置換	7	8	4	4
三尖弁形成	13	9	5	3
僧帽弁形成	10	5	6	2
メイズ手術	2	3	1	1
胸部ステントグラフト内挿術	8	4	9	7
その他	4	1	4	2
合計	119	105	75	64

末梢血管手術数

	2016年	2017年	2018年	2019年
下肢血行再建バイパス術	9	4	7	7
下肢血行再建血管内治療	9	5	5	14
腹部大動脈ステントグラフト内挿術	22	23	21	7
腹部大動脈人工血管置換	1	1	1	7
血栓摘除術	8	12	4	9
内シャント血管内治療	35	40	29	36
内シャント作成術	21	50	36	32
下肢静脈ストリッピング(焼灼術)	47	27(7)	31	45(43)
合計	152	162	144	157

呼吸器外科手術数

	2016年	2017年	2018年	2019年
原発性肺がん	24	51	61	48
転移性肺腫瘍	5	5	9	1
縦隔腫瘍	3	3	2	4
気胸	18	9	14	6
膿胸	1	1	4	1
生検・その他	8	5	15	8
合計	59	74	105	68

7. 学会認定施設

- ・ 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・ 呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設
- ・ 関連 10 学会構成胸部ステントグラフト実施施設
- ・ 関連 10 学会構成腹部ステントグラフト実施施設
- ・ 下肢静脈瘤焼灼術実施施設

